

平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月26日

上場取引所 東

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社

コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 利江

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理グループ

(氏名) 金子 正輝

TEL 03-6880-3851

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	814	146.1	72	426.2	70	429.5	29	—
25年8月期第1四半期	331	—	13	—	13	—	△32	—

(注)包括利益 26年8月期第1四半期 14百万円 (—%) 25年8月期第1四半期 △56百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	6.17	5.92
25年8月期第1四半期	△6.21	—

(注)1. 当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(注)2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在しておりますが平成25年8月期第1四半期は四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年8月期第1四半期	2,919	—	1,961	—	67.2	408.92
25年8月期	2,962	—	1,986	—	67.0	414.29

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 1,961百万円 25年8月期 1,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表します。

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,708	142.8	141	77.2	139	81.7	70	421.7	14.60
通期	3,400	62.9	363	30.4	357	30.1	196	102.8	40.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年8月期1Q	5,548,800 株	25年8月期	5,548,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年8月期1Q	752,700 株	25年8月期	755,800 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期1Q	4,794,576 株	25年8月期1Q	5,197,700 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日)につきまして、当社グループは、今期の基本方針である「出前館の持続的成長」と「新たな事業の柱の構築」の実現に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

10月25日より、Androidスマートフォン端末向け「出前館」アプリを全面リニューアルいたしました。スマートフォン初心者でも簡単にオーダーできるユーザインターフェースにこだわり、操作性を追求するとともに、地域密着ECサイトとしての特性をさらに活かせるよう、GPSを活用した店舗表示機能やオーダー後の予定お届け時間表示などの機能追加を行いました。また、11月26日には、Tポイント利用およびクレジットカード利用に関する機能を追加リリースしたことで、さらに利便性が高まり、オーダー数の増加に結びついております。

11月12日には、株式会社NTTドコモとシステム開発受託契約締結を行いました。業績への寄与は第2四半期以降となりますが、当社で培ってきた運営、マーケティング、サイト構築に関するノウハウを活かし、収益機会の多様化を図るべく、取り組んでおります。

また、11月26日には、シニア向けのコミュニティサイト「シニア・ナビ」の運営を中心に、シニア向けのマーケティング、コンサルティング等、幅広いサービス提供を行う株式会社ZENと株式取得に関する基本合意書の締結を行っております。「シニア・ナビ」は、12,000人以上のアクティブ会員を擁し、月間100万超のPV数を誇る平成11年に開設した老舗のシニアコミュニティサイトであり、今回の株式取得により、出前館におけるシニア層のユーザー拡大、シニア向けの新しいビジネスの創造が可能となると考えております。

出前館および加盟店の認知度拡大、デリバリーサービスの需要喚起を目的に、11月29日から12月2日までの4日間限定で、「大出前祭」と銘打った半額キャンペーンを実施いたしました。過去最大の11ブランド852店舗に参画いただき、人気のお寿司やピザなど、多くの商品が出前館限定で半額にて購入できるということで好評をいただき、対象店舗のオーダー数の合計は前年同四半期比で200%を超える結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は814,970千円(前年同四半期比146.1%増)、経常利益は70,581千円(前年同四半期比429.5%増)、四半期純利益は29,579千円(前第1四半期連結累計期間は32,271千円の損失)となりました。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	67,641	20.4	67,328	8.3	△313	△0.5
オーダー手数料	200,916	60.7	227,540	27.9	26,624	13.3
広告収入	16,887	5.1	12,837	1.6	△4,050	△24.0
その他	45,645	13.8	54,999	6.7	9,354	20.5
小計	331,091	100.0	362,706	44.5	31,615	9.6
通信販売事業	—	—	452,263	55.5	452,263	—
合計	331,091	100.0	814,970	100.0	483,879	146.1

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第1四半期連結会計期間末における会員数は約566万人を突破いたしました。また、加盟店舗数は11,510店舗、オーダー数に関しましては約203万件となっております。その結果、当第1四半期連結累計期間の出前館事業セグメントにおける売上内訳は、基本運営費67,328千円、オーダー手数料227,540千円、広告収入12,837千円、その他54,999千円、セグメント売上高は362,706千円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、機動的なコールセンターを運営し、高品質な焼酎を中心に、飲食店向けの通信販売を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、452,263千円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で1,629千円増加し、1,651,136千円となりました。増加の主な要因は、現金及び預金が22,760千円、商品及び製品が6,772千円減少した一方、仕掛品が21,000千円、未収入金が12,158千円増加したこと等によるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で44,658千円減少し、1,268,136千円となりました。減少の主な要因は、有形固定資産が7,757千円、差入保証金が6,062千円増加した一方、投資有価証券が26,511千円、のれんが27,140千円減少したこと等によるものであります。

以上により総資産残高は、前連結会計年度末比で43,028千円減少し、2,919,272千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で8,622千円増加し、587,983千円となりました。増加の主な要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が21,013千円減少した一方、支払手形及び買掛金が14,740千円、未払金が18,891千円増加したこと等によるものであります。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で26,737千円減少し、369,428千円となりました。減少の主な要因は、長期借入金が25,209千円減少したこと等によるものであります。

純資産残高は、前連結会計年度末比で24,914千円減少し、1,961,859千円となりました。減少の主な要因は、四半期純利益を29,579千円計上した一方、配当による減少が38,344千円、その他有価証券評価差額金が15,325千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年8月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月15日の「平成25年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、グループ全社において当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,759	1,234,999
受取手形及び売掛金	182,456	184,707
商品及び製品	58,052	51,280
仕掛品	—	21,000
未収入金	120,345	132,504
繰延税金資産	12,625	15,879
その他	27,001	20,397
貸倒引当金	△8,734	△9,631
流動資産合計	1,649,506	1,651,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,859	43,502
減価償却累計額	△15,679	△14,259
建物及び構築物（純額）	28,179	29,243
土地	64	64
その他	132,985	136,012
減価償却累計額	△118,904	△115,237
その他（純額）	14,081	20,775
有形固定資産合計	42,324	50,082
無形固定資産		
ソフトウェア	411,941	404,410
ソフトウェア仮勘定	29,362	27,891
のれん	506,630	479,489
その他	138	138
無形固定資産合計	948,072	911,930
投資その他の資産		
投資有価証券	255,046	228,535
繰延税金資産	6,317	9,853
差入保証金	28,748	34,810
その他	34,246	34,862
貸倒引当金	△1,963	△1,939
投資その他の資産合計	322,396	306,122
固定資産合計	1,312,794	1,268,136
資産合計	2,962,301	2,919,272

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,768	190,508
1年内返済予定の長期借入金	100,836	100,836
未払金	187,584	206,476
未払法人税等	62,196	41,183
賞与引当金	11,840	9,709
その他	41,135	39,269
流動負債合計	579,361	587,983
固定負債		
長期借入金	375,621	350,412
その他	20,544	19,016
固定負債合計	396,165	369,428
負債合計	975,527	957,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	664,400	664,400
利益剰余金	754,724	743,085
自己株式	△581,016	△578,632
株主資本合計	1,951,409	1,942,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,893	17,568
為替換算調整勘定	1,381	1,510
その他の包括利益累計額合計	34,274	19,079
新株予約権	1,089	627
純資産合計	1,986,773	1,961,859
負債純資産合計	2,962,301	2,919,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	331,091	814,970
売上原価	113,304	325,739
売上総利益	217,786	489,230
販売費及び一般管理費	204,084	417,128
営業利益	13,702	72,102
営業外収益		
受取利息	510	9
為替差益	—	536
その他	649	1,103
営業外収益合計	1,160	1,649
営業外費用		
支払利息	—	1,387
為替差損	1,533	—
持分法による投資損失	—	1,159
その他	—	622
営業外費用合計	1,533	3,170
経常利益	13,329	70,581
特別利益		
投資有価証券売却益	3,280	—
特別利益合計	3,280	—
特別損失		
固定資産除却損	0	183
減損損失	59,223	1,009
特別損失合計	59,223	1,193
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,613	69,388
法人税、住民税及び事業税	7,561	—
法人税等調整額	△17,903	—
法人税等	—	39,808
法人税等合計	△10,341	39,808
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,271	29,579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,271	29,579

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△32,271	29,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,610	△15,325
為替換算調整勘定	898	129
その他の包括利益合計	42,509	△15,195
四半期包括利益	10,237	14,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,237	14,383
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間（自平成24年9月1日 至平成24年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	331,091	—	331,091	—	331,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	331,091	—	331,091	—	331,091
セグメント利益	79,951	—	79,951	△66,248	13,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,248千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II. 当第1四半期連結累計期間（自平成25年9月1日 至平成25年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	362,706	452,263	814,970	—	814,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,646	4,646	△4,646	—
計	362,706	456,910	819,617	△4,646	814,970
セグメント利益	146,009	2,462	148,472	△76,370	72,102

(注) 1. セグメント利益の調整額△76,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間は単一セグメントとして報告していましたが、前第3四半期連結会計期間に株式会社薩摩恵比寿堂株式を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントの区分により記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。